

# ごんた坂

第16号

(光陵高校同窓会会報)



〈発行所〉 神奈川県立光陵高等学校光陵会

〈印刷所〉 SALAT 株式会社 サラト

3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震で被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。



今年の校歌祭は  
9月23日(金・祝)に開催!

※詳細は8ページに記載



## 会長挨拶

会長 太田 秀和 (2期生)

我々2期生もいよいよ還暦を迎えます。大学2年生から同窓会長をさせていただき、40年間以上光陵の卒業式と同窓会の総会・懇親会を見てまいりました。

今年も3月1日に行われた卒業式に出席させていただきました。今回も心暖まり、清々しい感動を得ることができました。式典が終わった後に卒業生は退席することなく、自分達のパフォーマンスを全員で行ないます。「仰げば尊し」を全員で歌い、パフォーマンスが始まります。その際、節度や礼儀がきちんと守られていることにも感心させられました。この新しい卒業生を加えて、光陵会の事務局が運営されます。この事務局の皆さんのおかげで光陵会が途切れることなく、続けていくことができます。

なぜ、これほどまでに卒業生が光陵を熱く語るのでしょうか。それは卒業生の皆さん一人一人に魅力があるからです。人生の中で最も多感な時期を光陵で過ごし、仲間達と切磋琢磨した結果、多くの輝く思い出が生まれたことに起因していると思います。

若い卒業生の皆さんは、忙しく目標達成に追われる日々を送っていると思います。とても光陵時代など思い出すことができないくらいハードな日々を送っています。でも安心してください！光陵会はいつになっても卒業生を迎え入れます。ふと自分の時間が持った時、光陵高校の思い出と仲間達は、まちがもなく皆さんをハートフルな世界へと誘ってくれます。

個人情報漏洩が問題になる卒業生名簿ですが、間違いなく卒業生を結びつける大切なツールです。進路に悩む時、この名簿を活用してください。先輩達は必ず皆さんに対してベストアンサーを出してくれます。

光陵会は、光陵が好きな大学生が中心になって運営されています。会の存続に彼らの力は不可欠です。光陵会事務局の皆さんに感謝するとともに、13,000人を超えた卒業生の皆さんの益々のご活躍を心から願っております。



## 事務局長挨拶

事務局長 柘植 貴之 (41期生)

「光陵会って何なの?」これはよく高校の友人から聞かれる言葉です。光陵会の事業は、会員同士の交流や高校の支援などを目的に行っており、この同窓会会報「ごんた坂」の制作をはじめとして、総会・懇親会の企画や運営、校歌祭への参加、光陵祭への出展、会員名簿の発刊、ホームページの運営、光陵高校への寄付、在校生を対象としたキャリアガイダンスを開催...などなど多岐に渡っています。

しかし冒頭の言葉通り、まだ活動が認識されていない面もあり残念に思っております。そこで会を運営している我々事務局スタッフは、なるべく多くの会員が関わり楽しめるような同窓会をつくりたいと思い、定期的に学校に集まり議論をし、毎日の活動をメール等で確認し合いながら、日々アイデアを出し合っています。

光陵会の事務局スタッフは大学生を中心に今も活動を続けております。若さ故か斬新な発想が出る一方、まだまだ実行に至らなかったり、時には暴走をしたりと未熟な点も多々あります。そこを社会人の先輩方が忙しい中サポートやアドバイス、時には私たちと本気で議論をして下さいます。私たちはこの経験を活かし、より良い同窓会にし、会員の皆様の応援に応え、愛し続けていただける会でありたいと思っています。

この同窓会会報「ごんた坂」は私たち事務局スタッフの単位認定のための1年の活動報告です。今後もスタッフ一同向上心を持って努力と挑戦を試みて参りますので、皆様の温かいご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



# 平成23年度 光陵会総会・懇親会のご案内

3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震で被災された方々、ならびに関係の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。  
 さて、光陵会事務局ではこの間、総会・懇親会の開催の是非について検討を重ねてまいりましたが、このようなときだからこそ、光陵高校卒業生という「絆」を改めて感じていただける場をご提供すべき、との結論に至り、予定どおり開催することといたしました。光陵会総会・懇親会の開催につきましてご理解賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。  
 なお、光陵会としましては、被災地の早期復興を願い、被災された方々を支援するため、当日は会場に義援金の募金箱の設置をいたします。皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

## ワークピア横浜にて懇親会を開催

今年度は昨年度と会場を変更し、ワークピア横浜にて懇親会を開催いたします。総会からご参加いただく方には、懇親会会場まで光陵会でご移動手段をご用意させていただきます。懇親会からご参加される方もいらっしゃると思いますので、同期の友人との再会はもちろん、1期から43期まで様々な世代の卒業生との出会いがあるはずですので、皆様のご参加を心からお待ち申し上げております。

## 3期、13期、23期、33期の皆様へ

今年卒業40年、30年、20年、10年を迎えられる3期、13期、23期、33期の皆様には『卒業アニバーサリー一期』として特にお集まりいただきたいと考えております。当時担任をされていた先生方にも是非お声掛けをお願いいたします。皆様お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

## 特別講演

今年度の総会では、12期の卒業生であり、クイズ作家として活躍されている道蔦岳史様に講演をお願いいたしました。さまざまなクイズ番組でクイズの出題・監修をされ、ご自身もかつては「クイズ王」として活躍されていた方です。貴重な講演ですので、是非足をお運び下さい。

### 講師 道蔦岳史 (みちつた たけし)

**プロフィール** 12期生 (昭和55年3月卒業)  
 クイズ作家、放送作家。日本放送作家協会、日本脚本化連盟に所属。  
 数多くのクイズ大会やクイズ番組に出場し、「クイズ王」として輝かしい成績を残す。現在はクイズ番組等のクイズ作家・監修を手がける。

### ○総会

日時：平成23年5月21日 (土)  
 14:00 ~ (13:30より受付)  
 会費：無料  
 場所：光陵高校第一視聴覚室 (横浜市保土ヶ谷区権太坂1-7-1)  
 ※上履きは各自でご持参下さい。

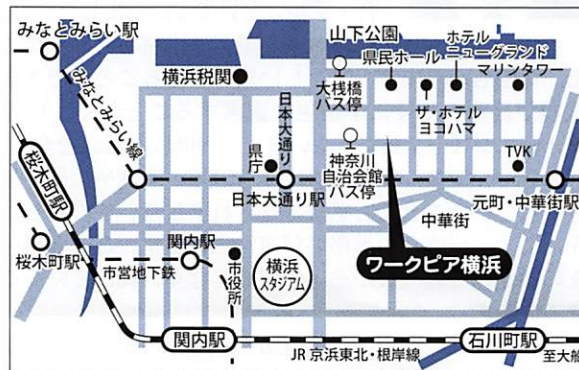
### ○懇親会

日時：平成23年5月21日 (土)  
 17:30 ~ (17:00より受付)  
 場所：ワークピア横浜 (横浜市中区山下町24-1)  
 会費：一般料金 .....7,000円  
 特別料金 (現旧職員) .....5,000円  
 (ご夫婦) .....10,000円  
 (学生) .....1,000円

※特別料金(ご夫婦)はパートナーが光陵高校の卒業生でなくても結構です。  
 ※高校生以下の方は無料です。是非ご家族でお越し下さい。  
 ※ご不明な点等ございましたら、光陵会ホームページまたは下記メールアドレスまでご連絡下さい。

URL: <http://koryokai.jp/> MAIL: [staff@koryokai.jp](mailto:staff@koryokai.jp)

## (ワークピア横浜までの案内)



### アクセス

- みなとみらい線 日本大通り駅3番出口 徒歩2分
- JR根岸線 関内駅南口 徒歩15分
- JR根岸線 石川町駅北口 徒歩13分
- 横浜市営バス 26系統・大棧橋下車  
8, 58, 125系統・神奈川自治会館前下車

## 二次会に 同期会・クラス会を開こう

年に一度、折角の機会ですので、同期会・クラス会を開催される方もいらっしゃるかと思います。光陵会では同期会・クラス会を行う為のサポートを行っておりますので、お気軽にご相談下さい。

お手数ではございますが、ご都合の程を同封のハガキにて5月2日(月)までにお知らせ下さい。また、当日の飛び込み参加も歓迎いたします。是非お越し下さい。その場合には、左記のメールアドレスまでご連絡いただければ幸いです。  
 尚、当日は駐車場所をご用意しておりません。**お車でのご来場は固くお断り申し上げます。**(光陵高校から懇親会会場までの交通手段は光陵会がご用意いたします。)

特集  
1

# KST (Koryo Study Time) のすすめ

～あなたはこの問題が解けますか？～

光陵高校の新たな取組み

突然ですが皆さん、次の漢字の意味はわかりますか？

【Q】 次の傍線部の意味として最も適切なものを選び。

1. 日本全国に蔓延している〈片岡義男の文〉
- ① 広く行われている
  - ② 長く続いている
  - ③ 流布している
  - ④ はびこっている
  - ⑤ 当たり前になっている

実はこれ、光陵高校で平成21年度より開始された『光陵スタディータイム(以下KST)』という、教科の確認テストの問題なのです。これは1、2年生を対象に、週に2回、放課後の20分間を利用して行なわれています。文系理系偏りのない実施を目指し、英語・国語・数学の3教科をテスト実施科目とし、英語では単語テスト、国語では漢字テスト、数学では公式を活用した演習問題を取り上げ、暗記事項を中心に構成されたテストとなっています。授業の復習にもなるため、定期テストに備えた知識の定着にも役立てることができま

す。KSTにおけるテストの得点は学校の成績には一切関わらせません。では、その目的は何なのか、校長の鈴木先生に伺いました。そのお答えは“大学受験に備えて勉強を習慣化するため”ということでした。KSTは暗記事項が中心なので、それに向けての自主学習が可能です。生徒それぞれがKSTに向け日々備えていくことで、各教科の基礎が定着すると同時に、勉強が習慣化されるのです。また、各自で授業の基盤を固めることができるので、学校においては生徒一人ひとりが“考える”参加型の授業の実施や、効率のよい学習を進めることが可能となります。

さらに、これは近年課題とされている『リテラシー教育』の徹底にも大きく近づくと考えられます。『リテラシー』とは、何かを受信し、考え、発信することです。KSTにおいて、その前提としての知識を身につけることができるという点にも、その意義を見出すことができます。

大学受験に向けて勉強を習慣化し、将来につながる『リテラシー能力』を培うKST。それは、大学受験への橋渡しのみにとどまらず、生涯に渡る学習活動の土台を築く役割も担っているのです。

では生徒の反応はどうか、光陵会は独自に生徒へのインタビューを試みました。すると、メリットとデメリット、それぞれの声が聞こえてきました。メリットとして、“暗記事項については、反復学習する良い習慣になった”、“基礎力の底上げになっている”などが挙げられ、当初の目的であった“勉強の習慣化”につながっているようです。その一方で、デメリットとして、“文系受験と決めているのに数学もテストがあるので大変”(理系受験の場合も同様)、“KSTのために勉強をするから、他の科目の予習がおろそかになる時がある”などが挙げられ、すでに私立受験を決めている生徒にとっては負担になっていることもあるようです。

鈴木先生がKSTを通じて、将来光陵生に求めることは3つあります。

1. どんな時も光陵生のプライド・自覚を持ち、将来を見据えて行動すること。
2. 自分を律し、“人間力”をつけることで社会に出てから役立てること。
3. 親や世間の目を気にせず、自分の考える“成功”に向かって頑張ること。

ここで人間力とは、「確かな学力」や「考える力」を身につけ、社会に対応できる力のことで、“高校生のうちから将来に備えてできることを少しずつ行なっていく”という考えが含まれています。

このように鈴木先生は、学力向上進学重点校の1つとして、大学受験だけでなく生涯に渡って役立つようにという願いを込めて、KSTをはじめとした取り組みを実践しています。

(42期 吉村友花、42期 丹代 通)

英語

○英語に合う日本語を選び、番号で答えなさい。

- (1) perspective  
1. 歩行者 2. 百分率 3. 観点 4. 同輩
- (2) circumstance  
1. 文明 2. 批評 3. 危機 4. 事情
- (3) infant  
1. 相続人 2. 人質 3. 依頼人 4. 幼児
- (4) facility  
1. 交友関係 2. 発見 3. 施設 4. 好意

国語

- ⑮ 片言隻語
- ⑭ 不撓不屈
- ⑬ 乾坤一擲
- ⑫ 隔靴搔痒
- ⑪ 会者定離

次の熟語の読みを答えよ。

数学

$n$ を自然数とすると、次の等式が成り立つことを数学的帰納法で証明せよ。

$$1 + \frac{3}{2^2} + \frac{4}{2^3} + \dots + \frac{n+1}{2^n} = 3 - \frac{n+3}{2^n}$$

いずれも2年生のKSTで出題された問題です。各教科(英語・国語・数学)から抜粋しましたので、皆さんもぜひTRY！してみてください。

模範解答は後日、光陵会 Web サイト (<http://koryokai.jp/>) に掲載予定です。

特集  
2

## 卒業生に突撃インタビュー!

～4期 ER田中博之さん × 42期 Ns'C佐藤楓～

2010年11月21日、秋も深まり冬の足音が聞こえるころ、光陵高校4期OBである、田中博之さんのご自宅を訪ねました。現在、JR東京総合病院救急部長として活躍している田中さんは、かつて光陵会の役員としても活動していました。そんな大先輩へのインタビューということで緊張していましたが、約2時間のインタビューの中で、光陵高校での思い出や大学生時代のこと、そして現在に至るまでの様々なお話を伺うことができ、大変有意義なひとときでした。



### 「光陵高校では初だったんじゃないかな？」

一では早速、光陵高校での学生生活についてお聞きします。当時まだ光陵高校は、権太坂ではなく立野に建てたのでしたよね？

田中さん（以下田中）

はい。我々は引越し世代なんです。引越し世代は2学年しかなくて、我々の学年

と1つ下の学年が引越し世代でした。学生時代の思い出という一概に話せるものでもないんだけど、当時は立野に校舎があって、1学年120人中60人以上が附属横浜中学校からの生徒だったから、ほとんどが身内だったかな。逆にほかの中学から来た人のほうが希少価値は高かったくらい。

一中学校からの仲間が多いと、濃い学生生活になりますね。

その中で、なにか印象的な思い出などはありますか？

田中 やっぱり修学旅行ですかね。当時は山陰・山陽地方まで、車中泊入れて7泊くらいしたかな。松江に2泊して、中丸1日自由行動だったんだけど、自由行動は当時としては珍しくて、たぶん光陵高校では初だったんじゃないかな？最後の2泊は広島と岡山で、なんと移動は船！その前の年にあったシージャック事件と同系線だったんだよね（笑）当時は修学旅行委員会というのがあって、（現副会長の）大道さんと僕と、あと、（現副会長の）山本さんもいたかな？普通の委員会は半年が任期なんだけど、その委員会だけは1年生のころから1年半以上活動しているから仲がすごくよくて、同期会を今でもよくやっているよ。旅行中は、ちゃんと夜になると生徒が生徒を寝かしつけていたから、先生は楽だったでしょうね（笑）200曲くらい入っている歌集を作って、バスの中では1曲目から200曲目まで通して歌ったりもしましたね。それに、当時体育祭ではクラスごとに応援旗を作っていたから、その旗を持ちながら歩いていたかな。今では良い思い出だよ。

一クラスごとに応援旗を作っていたんですね。ということは、当時、体育祭はクラス対抗だったんですか？

田中 当時は色別対抗じゃなくて、クラス対抗だったよ。クラスごとに優勝を争って、毎年2年生が強かったかな。うちのクラスは運動系は全然だめだったけど（笑）あ、でもマラソン大会で優勝したかな。ただ、採点方法がトップ

とビリのタイムを足して2で割るって方法だったからだいぶインチキだったなあ。開催場所は、1年生のころは本牧市民公園で、2年生のころは根岸の競馬場だったかな。3年生は参加しなかったけど、児童公園でやっていました。3年生でも走っていた人はいましたけどね。

一今では体育祭は色別対抗、マラソン大会は校庭を走っていますから、行事は同じことをやっても、形態がずいぶん違うのですね。ところで、光陵会の役員をされたきっかけなどはございますか？

田中 別にあんまり意識はしなかったんだけどね。在学当初から太田会長は存在感があってね。ある日帰らないでなんとなく教室に残っていたら、太田さんが教室に来てね。「暇か？掃除しないか？」って窓ふきをしたんだよね。当時は公式にじゃないけど掃除部っていうのがあってね。最初は自分の教室だけだったけどだんだんエスカレートして校舎のほとんどを掃除していたよ。当時は木造で隙間風がすごくて廊下に雪が積もっているくらいだったけど、大切に校舎を使いたくて。廊下に油を塗るとききれいになるから、よく油を塗っていたね。6期生の入試は校舎でやったんだけど、その前は掃除も入念にやっていたかな。そのきっかけを作ってくれた太田さんが会長になったり、知り合いが役員になったりしたから、特に意識せずに役員になってしまったね。

一当時の生徒さんは、特に校舎に対する愛着が強かったのですね。

田中さん、医学部へ

一ところで、大学は医学部ということですが、なぜ医学部を目指されたのですか？

田中 私の場合は親が医者だったからそんなに意識せずに医学部を目指しましたね。でも、うちの学年というかクラスは40人中6人が医者だから、そんなに珍しいことでもなかったかな。いま考えれば結構すごいんですよね。東大は1学年120人中3人いったよ。1人は浪人で1学年上だったけどね。早稲田と慶応は60人くらい入っていて。もちろん1人でいくつも受かっている人もいました。

一では、大学在学中のお話をうかがいたいのですが、在学中から救急医を目指されていたのですか？

田中 いや、そういうわけでもないんだよね。今ではあたりまえだけど、5年生で臨床実習ってね。最初に小児科にいて割と楽しくて、興味がわいて、あともう1つ、神経内科にも興味をそそられたかな。でも、治す治療をした

くて、最終的には胸部外科に入っていたね。それから5年くらい働いて、いろんな先生をみて、こんな風になりたいなっていう人がいて、気が付いたら救命の道に流れ着いた

って感じかな。でも正直に言うと、なぜこの道を選んだかと聞かれたら、わからない、というのが本音です。

—明確な理由でなく、本能が選んだのですかね。

## 「本を書きたいなあ…」

—ところで、救急の現場で働いていて、やりがいを感じる時はどんな時ですか？

田中 どんな現場でもそうだと思うけど、やっぱり患者さんの流れを変えられるというところかな。悪い流れになってしまうことも無きにしもあらずだけど、いい方向に変えられるのは素晴らしいことですよ。

—将来的な目標や、これから取り組みたいことはなにかありますか？

田中 5年後にこうだったらいいな、10年後にこうだったらいいな、というのはありますけど、具体的にどうしたいというのはあまりないですね。本を書きたいなあというのがあって、ネタはあるのですが形になるかはわかりません。医学書ではなくて、キャリアガイダンスの時などにも使う本を作りたいです。当面の目標というか、今、本をシリーズで書いていて、それを6巻まで書くということは約束しているんです。まだ4巻の構成までしか終了していませんので、それを書き上げなければと思っています。でも、日常的な診療などでこうしたい、などは今はあまりないです。—いつか、田中さんの本にお目にかかれることを期待して

います。では最後に、これからの光陵高校や光陵会に求めることなどはありますか？

田中 基本的に一番大切なのは、続くことだと思います。続くことというのは、学校がなくならないということも含まれるので、どうなるかはわかりませんが…。今、中高大連携というのがあるのでその間は大丈夫だと思いますけどもね。光陵会としてなにをしてほしいというよりも、個人的にできた先輩後輩のつながりが、今では切れてしまった部分もありますがつながっている部分もありますし、今なお広がっている部分もありますので、そういう意味ではそういったつながりがこれからの世代にも受け継がれていけばいいなと思っています。

### プロフィール

たなかひろゆき

4期生(昭和47年3月卒業) 田中博之

医師・JR東京総合病院救急部長

兼 東京医科大学教授



### 取材を終えて

続くこと。確かにこれに尽きると思います。これまでの光陵会の歴史の中でも、何回も体制建て直しや存続の危機がありましたし、これからもあると思います。そんな中でも光陵会は、光陵高校卒業生の中心として、いつまでも機能し続けていきたいですし、自分が少しでもその光陵会の中で力を発揮できればと思います。

お忙しい中、時間を割いていただいた田中さん、面白いお話をどうもありがとうございます。今後のさらなるご活躍を期待しています。(42期 佐藤 楓)

## 光陵卒業生人材バンク登録のお願い



光陵会では、光陵高校で実施されている「キャリアガイダンス」の講師派遣の母体となる「光陵卒業生人材バンク」への登録を随時受け付けております。光陵高校は「キャリア教育拠点校」の指定を受けており、この「キャリアガイダンス」は、そのキャリア教育の一環として、様々な分野で活躍する卒業生が勤労観・職業観、経験してきた仕事や若き日の進路選択について、現役の光陵生にお話しいただくもので、卒業生のご協力のもとに成り立っております。例年、1桁期～30期代まで、職種を超えて多くの方々にご協力いただいております。

残念ながら平成22年度は3月にありました地震の影響により中止となってしまいましたが、既に5回実施されております。キャリアガイダンスがきっかけとなり、自

分の興味に対する気づきや新しい世界を光陵生に発見してもらおう。また、同じ高校の先輩とお話できる機会があるというのは現役の高校生にとって大変貴重なことだと思います。ご協力いただける方は下記の連絡先までぜひご連絡ください。

登録・お問い合わせは

光陵高校内 光陵会

〒240-0026 横浜市保土ヶ谷区権太坂1-7-1

もしくは

光陵会副会長 4期 大道正夫 (omichim@nifty.com)

までお願いいたします。

平成22年受験結果 (平成21年度42期生進路状況) 一覧

I. 全体的な状況

(1)平成22年3月 卒業生

Table with 2 columns: Category (卒業生数, 就職者数, 進学希望者数) and Value (235, 0, 235).

II. 進路状況(抜粋)

(1)国公立大学

Table showing university names and exam results for national/public universities, including columns for total number of students, current status, and results for the previous and current years.

(2)私立大学

Table showing university names and exam results for private universities, including columns for total number of students, current status, and results for the previous and current years.

Table showing university names and exam results for private universities, including columns for total number of students, current status, and results for the previous and current years.

(3)短期大学

Table showing short-term university names and exam results, including columns for total number of students, current status, and results for the previous and current years.

(4)各種・専門学校

Table showing vocational school names and exam results, including columns for total number of students, current status, and results for the previous and current years.

平成22年 部活動実績(抜粋)

Table listing sports and club activities with their respective achievements, such as national and prefectural tournament results.

寄付の報告

Text report regarding donations, mentioning the donation of a toilet sound device to the school.

Text report regarding donations, mentioning the donation of a toilet sound device to the school.

Text report regarding donations, mentioning the donation of a toilet sound device to the school.



教職員異動

【平成22年3月 転出者】

Table listing outgoing staff members with columns for position, name, and previous school.

【平成22年4月 新着任者】

Table listing incoming staff members with columns for position, name, and previous school.

平成22年度  
総会報告

昨年5月29日に平成22年度総会を光陵高等学校第一視聴覚室で開催いたしました。議事内容全てにおいて賛成多数で承認されましたことをご報告いたします。議事項目は以下の通りです。

- 一. 平成21年度決算報告 (ごんた坂第15号7ページ参照)
- 二. 平成22年度予算審議 (同上)
- 三. 平成21年度役員解任 (同上)
- 四. 平成22年度役員承認 (同上)

また、活動報告の部では、6年ぶりとなる会員名簿の発刊、キャリアガイダンス、高校への寄付(体育館の内幕)のご報告をいたしました。

本年度の総会のごんた坂本号2ページにてご案内させていただいております。皆さまお誘いあわせの上ご参加ください。



光陵会賛助金芳名簿

この度、光陵会運営のため賛助金を募りました。以下の通り、皆様の温かいお心遣いをいただきましたことを深く感謝いたすとともに、ここに報告いたします。

今後も引き続き、ご支援ご協力をお願いいたします。振り込みの際には入金者名に期・組・名前をご記載ください。(以下、敬称略)

- 永見 秀 (14-2) 小野 敏路 (25-3)
- 有泉 満 (27-2) 川上 敏彦 (35-2)

尚、下記の方については、本人を特定することができませんでした。大変申し訳ございませんでした。ご協力ありがとうございました。

ナカジマ ミワさん

【総会時に賛助金をいただいた方】

- 千葉 孝 (1-1) 太田 秀和 (2-2) 山本 勉 (4-1)
- 田中 博之 (4-2) 古藤田謙治 (5-1) 川越 桂 (5-2)
- 橋本 和彦 (6-4) 田沼 光明 (7-1) 稲葉 将陽 (12-7)
- 常光 康弘 (27-4) 武藤 壮輝 (28-4)

新役員候補紹介

平成22年度光陵会役員

- 会 長 太田 秀和 (2期生)
- 副 会 長 大道 正夫 (4期生) / 山本 勉 (4期生)
- 理 事 古藤田謙治 (5期生) / 藤原 真人 (22期生)
- 柿崎 祐一 (25期生) / 藤原 直人 (31期生)
- 小西 直子 (35期生) / 佐藤 愛美 (36期生)
- 播口 陽介 (36期生)
- 監 査 上原 武 (25期生) / 高橋 芳昌 (33期生)
- 増田 祐徳 (36期生)
- 事務局長 柘植 貴之 (41期生)
- 副 局 長 金子 周平 (38期生) / 石井 清孝 (41期生)
- 鞠子 友花 (41期生) / 山本 藍子 (41期生)
- 佐藤 楓 (42期生) / 吉村 友花 (42期生)
- 会 計 中島 佳亮 (41期生)
- 会計補佐 白井 麻奈 (41期生) / 松岡 未来 (41期生)
- 平井 裕夏 (42期生)
- 書 記 倉島 悠子 (38期生) / 南雲 優 (41期生)
- 丹代 遥 (42期生)

平成23年度光陵会役員(案)

- 会 長 太田 秀和 (2期生)
- 副 会 長 大道 正夫 (4期生) / 山本 勉 (4期生)
- 理 事 古藤田謙治 (5期生) / 藤原 真人 (22期生)
- 柿崎 祐一 (25期生) / 藤原 直人 (31期生)
- 小西 直子 (35期生) / 佐藤 愛美 (36期生)
- 播口 陽介 (36期生) / 倉島 悠子 (38期生)
- 監 査 上原 武 (25期生) / 高橋 芳昌 (33期生)
- 増田 祐徳 (36期生)
- 事務局長 佐藤 楓 (42期生)
- 副 局 長 金子 周平 (38期生) / 柘植 貴之 (41期生)
- 細田 幸介 (42期生) / 八重野なつき (43期生)
- 会 計 平井 裕夏 (42期生)
- 会計補佐 中島 佳亮 (41期生) / 菊名 直人 (42期生)
- 藤井龍太郎 (42期生) / 内山 唯 (43期生)
- 書 記 山本 藍子 (41期生) / 丹代 遥 (42期生)
- 吉村 友花 (42期生) / 小川 祥 (42期生)

平成22年度決算

(収入の部)	
入会費・終身会費	2,319,475
懇親会会費	389,000
賛助金	68,000
名簿売上	6,000
その他	3,450
前年度繰越金	17,682,601
合 計	20,468,526

(支出の部)	
通 信 費	154,015
印 刷 費	17,145
事 務 費	45,235
運 営 費	431,398
交 通 費	162,850
懇親会費	491,381
H P 運用費	29,445
会 報 費	250,000
校 歌 祭 費	52,000
光 陵 祭 費	16,302
高 校 寄 付 費	195,363
設 備 予 備 費	271,065
合 計	2,116,199
収 支 差 額	18,352,327

平成23年度予算(案)

(収入の部)	
入会費・終身会費	2,300,000
懇親会会費	400,000
賛助金	40,000
前年度繰越金	18,352,327
合 計	21,092,327

(支出の部)	
通 信 費	200,000
印 刷 費	30,000
事 務 費	50,000
運 営 費	450,000
交 通 費	200,000
懇親会費	500,000
H P 運用費	30,000
会 報 費	500,000
校 歌 祭 費	82,000
光 陵 祭 費	40,000
高 校 寄 付 費	200,000
設 備 予 備 費	100,000
合 計	2,382,000
収 支 差 額	18,710,327



## 会報発行協力金のお願い

平成21年より会報の発行を名簿委託業者であります㈱サラトと共同事業とした独立採算制とし、会員の皆様にはその会報発行費用を賛助協力金として1口2,000円をお願いしております。本年度もコンビニエンスストアで決済可能な振込用紙を、失礼を承知の上同封させていただきます。

光陵会事務局は今後も存続し、母校への発展寄与のため尽力してまいりたいと一同強く願っております。何卒、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。また、従来からお願いをさせていただいております光陵会への直接の賛助金も受け付けておりますが、これを機会にぜひ会報発行協力金にご賛同いただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

※ 会報発行協力金は発行費用を上回ります賛助協力金をいただいた場合、その8割が光陵会への賛助となります。

※ 同封の振込用紙は、郵便振込を利用されますと金額の訂正が可能となります。コンビニエンスストアを利用される場合は一律2,000円となりますのでご注意ください。

### 会報アンケート実施のお知らせ

同封させていただきました「総会・懇親会出欠ハガキ兼委任状」に、会報についての簡単なアンケートを掲載させていただきました。ぜひ皆さまの会報への素直な感想をお寄せいただけますと、今後の会報編集の助けとなり幸いです。



## 青春かながわ校歌祭

♪光は希望 その光あふれる陵に…

入学式でこの歌を初めて聞いたときのこと、皆さんはまだ覚えていますか？あの時の気持ちのままでもた歌える、そんな催し『青春かながわ校歌祭』に、今年も光陵会は参加します。

昨年の会場には光陵高校の歌を作曲された三好先生にもおおいいただき、総勢57名（うち在校生4名）で舞台にあがり混声四部のこの美しい調べを響かせることができました。今年も昨年以上に多くの皆さんの参加をお待ちしています。例年、光陵高校の視聴覚室などで練習会を行っていますが、当日のみの参加も歓迎します。

練習日予定や参加費（楽譜印刷代など昨年は500円）など、詳細はホームページなどでお知らせします。

なお、光陵高校の歌を作詞された石渡先生（創立時国語科教諭その後第5代校長をされました）が本年1月1日にご逝去されました。光陵会としても、改めてこの歌を歌い継いでいきたいと考えています。

### ～ 開催案内 ～

日時：平成23年9月23日（金・秋分の日）

会場：神奈川芸術劇場（横浜市中区山下町281）

主催：かながわ校歌振興会

共催：神奈川県教育委員会



## 会員名簿の取扱について

皆様のご協力のもと、昨年5月に6年ぶりとなります会員名簿を発刊することができました。ご協力いただき誠にありがとうございました。住所等変更の際には巻末にございます住所変更ハガキにてお知らせいただくか、下記宛先までご一報いただきますよう、よろしくお願いいたします。

集めさせていただいている個人情報プライバシーマーク取得企業で名簿委託業者の㈱サラトとともに厳重に管理しておりますが、昨今光陵会の名を騙り、会員の皆様の勤務先への問い合わせや勧誘・物品販売などが行われているようです。これらは光陵会とは一切関係ございませんので、内容を確認の上、適切に対応くださいますようお願い申し上げます。

ご購入を希望される方は下記までお問い合わせください。光陵会事務局よりお手続きの詳細の連絡をさせていただきます。ご入金の確認後1カ月程度のお時間をいただいております。余裕を持ってご連絡いただけますと幸いです。なお、会員名簿はお一人様一冊までとなります。

名簿のほか、有料ではございますが、同窓会（学年）の案内状作成等にご利用いただける宛名ラベルの出力も受け付けております。名簿とともに久しぶりの同窓会にご協力ができると考えております。併せてご検討ください。

宛先：「光陵会事務局メールアドレス」 staff@koryokai.jp

## 同窓生向けのSNSのお知らせ

卒業後の交流の場として同窓生向けのSNSが運営されています。加入希望、お問い合わせはこちらへお願いします。

URL：<http://www.koryo.gr.jp/sns/>

mail：[koryo-kai-request@koryo.gr.jp](mailto:koryo-kai-request@koryo.gr.jp)

運営：光陵会メーリングリスト(koryo.gr.jp)

## あ と が き

今、この「あとがき」を書きながら、この会報が今年も卒業生のお手元に届くことを嬉しく感じています。「ごんた坂」第16号はいかがでしたか？

前回に引き続き今回も41期・42期を中心とした学生スタッフが制作をし、封筒のデザインを変更するなど、今回は新しいことにも挑戦してみました。同封のハガキにアンケートもご用意しましたので是非みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。

近年 SNS の普及により連絡の途絶えていた同窓生と連絡を取り合うことがより容易になってきました。光陵会にも SNS をはじめ、情報発信のための光陵会 Web サイト (<http://koryokai.jp/>) もご用意しております。この機会に是非ご覧ください。

会報の発行にあたり多くの先輩方と交流できたこと、そして多くの方々にご協力頂きましたこと、心より感謝申し上げます。事務局にも4月から新たに43期の有志を加え、更なる活動の充実を図りたいと考えております。ご期待ください。最後に会員のみなさまのご多幸をお祈りしつつあとがきに代えさせていただきます。

(事務局一同 文・41期 鞠子友花)